

| | | |
|----------------|---------|-------------|
| <h1>出張報告書</h1> | 幹 事 長 印 | 経 理 責 任 者 印 |
| | | |

令和元年8月5日

創生くまとり
幹事長
田中 圭介 殿

出張者氏名 田中 圭介 印
大林 隆昭 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先 全国市町村国際研修所

2. 出張日時 令和元年8月1日 ～ 令和元年8月2日

3. 出張用務（宿泊を要する場合はその事由）
全国市町村議員特別セミナーを受講するため

4. 旅 費
セミナー受講料 ￥7,082(振込手数料込)×2名
高速料金 ￥2,950
計 ￥17,114-

5. 報 告
滋賀県にある、全国市町村国際研修所において行われた、「第1回 全国市町村議員特別セミナーを受講。内容は別紙に記載

①滋賀県知事 三日月大造氏 ～みんなでつくろう！健康しが～

②社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏 人生100年時代ごちゃまぜ社会

③同志社大学スポーツ健康科学部教授 二宮浩彰氏
スポーツツーリズムを活用したまちづくり

④月間「ソトコト」編集長 指出一正氏 関係人口のつくり方.....

.....

5 報告

報告者 大林 隆昭

①テーマ みんなでつくろう！健康しが

8月1日

講師 滋賀県知事 三日月大造氏

13時15分～14時45分

滋賀県は平均寿命が男性1位、女性4位。また、健康寿命も客観的指数では男性2位、女性が3位と非常に高い数値になっている。人の健康だけでなく、自然、社会の健康にも積極的に取り組み、2019年7月にSDGs未来都市にも選定されている。1人が100歩進むより、100人が1歩進む取り組み。持続可能な体制づくりを目指している。今は構想段階だが、持続可能な地域公共交通の財源として例えば1人100円を徴収し、財源にする。なども考えられている。また、2016年度から県庁の働き方改革に取り組み、残業時間の一定の削減に成功している。一番に働き改革に取り組み県庁の健康経営にも取り組んでいる。

②テーマ 人生100年時代とごちゃませ社会

8月1日

講師 社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏

15時05分～16時35分

社会福祉法人佛子園では、「ごちゃませ」を推進しています。一つの地域に色々な施設を点在させることにより、みんなで暮らせる町。すべての人が役割を持ち、町が機能し、人が機能する。障害の有無も、大小も、年齢も、性別もすべてが「ごちゃませ」型にはめない福祉で地域を支える色々な取り組みの成功事例を紹介してもらえました。

2014年にオープンした「Share金沢」は、約1万1000坪の敷地に、「サービス付き高齢者住宅」「学生用住居」「児童入所施設」などがあり、「生涯活躍のまち」のモデル事業として安倍首相も視察に訪れる街。それぞれに役割を持ち、町づくりに参加している人はみんな笑顔で過ごせていました。

③テーマ スポーツツーリズムを活用したまちづくり

8月2日

スポーツがもたらす地域活性化の効果

9時00分～10時30分

講師 同志社大学スポーツ健康科学部教授 二宮浩彰氏

スポーツ大会などを通して、地域経済にもたらす影響などを科学的に解明し、スポーツマーケティングに生かすことで地域活性化を促進する。地域内のスポーツ消費者と地域外から来るスポーツ消費者の消費金額の差や、目的などを調査することでスポーツ大会をより良くしていくことが出来る。大きなスポーツイベントでは自治体の負担に合うだけの経済的効果、地域活性化効果が求められ、開催することを目標にしてはいけない。という事がわかった。「スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会」でまとめられた「スポーツツーリズム需要拡大戦略」では武道ツーリズムが重点テーマにあげられ、「太極拳のまち」を目指す熊取町にとっては追い風になると思われる。スポーツコミッション事業で武道ツーリズムを推進することで、日本人観光客、インバウンドなどの集客を目指し、経済的効果、地域活性化を図っていくのも効果的と考えられる。

④テーマ 関係人口のつくり方

8月2日

講師 月間『ソトコト』編集長 指出一正氏

10時50分～12時20分

関係人口とは、観光客以上移住者未満の人口。大都市圏でその地域のことを考え、行動してくれる人たち。「関係人口」という言葉を作った指出氏の講演では興味深い実例をたくさん紹介していただきました。今の若者は、ローカルに面白さを見出しているそう出す。都会にはない土臭い「ローカル」なものに引き寄せられている。完璧に出来上がったところには、興味を示さず、でこぼこザラザラしたような所の方が人の関心を集める時代になっていると。そこでは自分も一緒になにかできそうな「関わりしろ」があるから。自治体の紹介パンフレットなども、いいところばかりを並べるのではなく、1つの良いところと悪いところを併せて考えることで新しい価値が生まれ、そこに人は興味を関心を示すのです。また、情報は与えず、自分で発見してもらうと、「自分が見つけたローカル」とさらに大切に思ってくれるので、関係人口を増やしたい自治体はパンフレットなども考え直したほうが良いと思いました。

5 報告

報告者 田中 圭介

①テーマ みんなでつくろう！健康しが

8月1日

講師 滋賀県知事 三日月大造氏

13：15～14：45

三日月滋賀県知事は、一番に働き方改革に取り組み健康経営にも取り組んでいます。2016年度から県庁の改革に取り組み、残業時間の削減等を実現している。

滋賀県は平均寿命が男性1位 女性4位と男性は全国1位、また、健康寿命に関しては客観的指数では、男性2位 女性3位と平均寿命に続きに非常に高い数値になっている。

2019年7月にSDGs 未来都市にも選定され、人の健康だけではなく、自然・社会の健康にも、積極的に取り組んでいる。

結果を残している事で「みんなでつくろう！健康しが」を自信を持って講演されたように思いました。

②テーマ 人生100年時代とごちゃまぜ社会

8月1日

講師 社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷良成氏

15：05～16：35

社会福祉法人佛子園 雄谷良成理事長は、障がいがある人・無い人、大きい・小さい、年齢も性別もすべてが「ごちゃまぜ」のみんなが暮らせるまちを推進しています。

安倍総理大臣も「生涯活躍のまち」のモデル事業として視察で訪れられた、2014年にオープンした「Share 金沢」とは、約1万1000坪の敷地に、「サービス付き高齢者住宅」・「学生用住居」・「児童入所施設」の成功事例を紹介されました。

③テーマ スポーツツリズムを活用したまちづくり

8月2日

スポーツがもたらす地域活性化の効果

9:00~10:30

講師 同志社大学スポーツ健康科学教授 二宮浩彰氏

「太極拳のまち」をスローガンにしている熊取町には、スポーツツリズムを活用したまちづくり・地域活性化とかなりヒントになる講演でした。

スポーツ大会などを通し、地域経済にどのくらい影響をもたらすかなどを科学的に解明し、それをスポーツマーケティングに生かすことで地域活性化を促進し、地域内外から参加するスポーツ消費者の消費金額の差や、目的などを調査することによってそのスポーツ大会をさらにレベルアップすることができる。

大きなスポーツイベントでは、その自治体に見合う経済的効果・地域活性化が求められ、開催することだけを目指してはいけないということがわかった。

④テーマ 関係人口のつくり方

8月2日

講師 月刊「ソトコト」編集長 指出一正氏

10:30~12:20

近年よく聞く「関係人口」という言葉を作った指出一正氏。

関係人口とは、観光客以上移住者未満の人口のこと。東京一極集中・大都市圏でその地域のことを考えて、それを行動してくれる人たち。現在の若者は、ひと昔まえの大手企業のような完璧に出来上がったことには興味がなく、都会にはない地方の田舎のような「ローカル」なところに興味がある。

そのローカルな土地で自分もその地域で何か一緒に関わる可能性があることに、面白さを求め大都市でなく、人里離れた地域に行き自分で見つけたオンリーワンを大切にしたい若者が増え、その地域を大切にしているのが地方創生のヒントの1つになりそう。



令和元(2019)年度

第1回市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、様々な分野の第一線でご活躍の方々を講師にお招きし、地域を元気にするまちづくりについて多角的に考えていきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

令和元(2019)年

8月1日(木)

(仮)滋賀県の挑戦 ～みんなでつくろう！健康しが～

滋賀県知事 三日月 大造 氏

人生100年時代とごちゃませ社会

社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏

令和元(2019)年

8月2日(金)

スポーツツーリズムを活用したまちづくり:

スポーツがもたらす地域活性化の効果

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮 浩彰 氏

関係人口のつくり方 ～ぼくらは地方で幸せを見つける～

月刊『ソトコト』編集長 指出 一正 氏

開催要領

日程

令和元(2019)年8月1日(木)～8月2日(金) (2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員の皆さま

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

200人

募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

6,650円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和元年6月19日(水)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により**議会事務局を通じてFAX**でお申込ください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和元年

8月

1日(木)

11:00～ 入寮受付・昼食

13:00～ 開講式・日程説明

13:15～14:45 (仮)滋賀県の挑戦 ～みんなでつくろう！健康しが～

滋賀県知事 三日月 大造 氏

15:05～16:35 人生100年時代とごちゃませ社会

社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏

17:30～ 交流会 とともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和元年

8月

2日(金)

9:00～10:30 スポーツツーリズムを活用したまちづくり:

スポーツがもたらす地域活性化の効果

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮 浩彰 氏

10:50～12:20 関係人口のつくり方 ～ぼくらは地方で幸せを見つける～

月刊『ソトコト』編集長 指出 一正 氏

12:20～12:30 閉講・事務連絡

講師紹介

三日月 大造(みかづき たいぞう)氏 滋賀県知事

1971年生まれ。滋賀県出身。一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)に入社。2002年4月(財)松下政経塾入塾(第23期生)。2003年11月に衆議院議員初当選、以降4期連続で衆議院議員を務めた。その間、国土交通大臣政務官、国土交通副大臣などを歴任。2014年7月滋賀県知事に就任。2018年7月に再選、現在2期目。

雄谷 良成(おおや りょうせい)氏 社会福祉法人佛子園 理事長

金沢大学卒業後、青年海外協力隊(ドミニカ共和国、障害福祉指導者育成)、財団法人フンダシオン・オーサカ(ドミニカ共和国、医療過疎地病院建設)センター長、北國新聞社、金城大学非常勤講師等を経て、現在は、社会福祉法人佛子園理事長、普香山蓮昌寺(ふこうぜんれんじょうじ)住職。公益社団法人青年海外協力協会会長、一般社団法人生涯活躍のまち推進協議会会長、日本知的障害者福祉協会社会福祉法人の経営に関する特別委員会委員、金沢大学非常勤講師なども務める。「Share金沢」など、さまざまな人が共生できるコミュニティ拠点の開設を牽引。「ごちゃませ」をコンセプトとしたまちづくり手法は多方面から評価と注目を集めている。

二宮 浩彰(にのみや ひろあき)氏 同志社大学スポーツ健康科学部 教授

同志社大学スポーツ健康科学部教授。1967年大阪市生まれ。鹿屋体育大学大学院修士課程、中京大学大学院博士後期課程、博士(体育学)取得。大分大学経済学部教授を経て2008年より現職。2017年度フロリダ大学ツーリズム・レクリエーション・スポーツマネジメント学科客員研究員。日本スポーツマネジメント学会運営委員、日本生涯スポーツ学会監事、奈良市スポーツ推進計画策定委員会委員、京都市スポーツ施設指定管理者選定委員会委員長、などを歴任。著書に『レクリエーションの行動科学』(不昧堂出版)、『スポーツ産業論』(杏林書院)、『スポーツツーリズム・ハンドブック』(学芸出版社)、ほか。

指出 一正(さしで かずまさ)氏 月刊『ソトコト』編集長

月刊『ソトコト』編集長。1969年群馬県生まれ。上智大学法学部国際関係法学科卒業。雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。島根県「しまこトアカデミー」、奈良県下北山村「奈良・下北山 むらこトアカデミー」、和歌山県田辺市「たなこトアカデミー」などのメイン講師、静岡県『「地域のお店」デザイン表彰』審査委員長を務めるなど、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」、同本部「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」、内閣官房「水循環の推進に関する有識者会議」、環境省「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』(ポプラ新書)。趣味はフライフィッシング。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。